



●緑色は別名

《目次》	1
モイワナズナ	2
モウセンゴケ	3
モクゲンジ	4
モクレン	5
モチツツジ	6
モッコウバラ	7
モッコク	8
モミ	9
モミジアオイ	10
モミジイチゴ	11
モミジカラマツ	12
モミジバアサガオ	13
モミジバゼラニウム	14
モミジバフウ	15
モミジヒルガオ	16
モモ	17
モロコシ	18
モロッコインゲン	19
モロヘイヤ	20

【花期 3月～初夏】



モイワナスナ

2005.4.14



花 1目盛りは1mm

2005.4.14



果实

2005.5.6



根生葉

2005.4.14

モイワナズナ 藻岩薺 〈アブラナ科イヌナズナ属〉

本州中部の高山地帯(長野県)、北海道およびサハリンに分布する
小形多年草。高さ10~25cm。全株に星状毛および短毛を密生。
根生葉は束生、倒披針形、茎葉は互生、狭卵形。花は総状花序に
多数、白色、萼片4個、花弁4個、雄しべ6個、うち4個は他の2個
より長い、雌しべ1個。[18]

■名は、北海道藻岩山で発見されたから。【18】

[illegible]

【花期 6~8月】



花 花茎

2006.8.15志賀高原



花

2003.7.22志賀高原



果实

2002.8.25志賀高原



モウセンゴケ

2003.7.27志賀高原

モウセンゴケ 毛氈苔 〈モウセンゴケ科モウセンゴケ属〉

日当たりのよい湿地に生える多年生の食虫植物。葉は根生、倒卵状円形、長さ5～10mm、表面に紅紫色の長い腺毛がある、基部はくびれて長い柄となる。葉の間から15～20cmの花茎を直立し、総状花序に白色の花を数個、萼片5個、花弁5個、雄しべ5個、花柱3個、各3深裂。果実はさく果、長楕円形。[3][18][42]

■名は、葉に毛の多いのを毛氈に見立て、小形であるから苔とついた。【18】

■腺毛は粘着し、小さい虫はこれに触れると動けなくなり、腺毛から分泌する液で消化される。【3】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
モウセンゴケ						○	○						

【花期 7~8月】落葉高木



花 2007.7.24長野市松代・離山神社

実 さく果は紙質で袋状【18】

2005.8.22長野



モクゲンジ

2007.7.24長野

実 種子は数珠の材料になる【49】

モクゲンジ 木槵子 別名ゼندانバナボダイジュ〈ムクロジ科モクゲンジ属〉

寺院によく植栽される。高さ10m位。葉は互生、奇数羽状複葉と
きに2回羽状複葉、長さ20～35cm、小葉は3～7対、卵形、長さ4～
10cm、ふちに欠刻状重鋸齒、しばしば下部は羽状に分裂。枝先
に円錐花序。花は黄色、萼5深裂、裂片長橢円形、花弁4個、線状
長橢円形、基部は赤色を帯びる、雄しべ8個、花糸は長い。果実
はさく果、風船のように膨らみ、熟すと3裂。[18][37][49][58]

■名は、ムクロジの漢名木櫨子が誤用され、その字音から。【18】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
モクゲンジ						●							

【花期 4~6月】常緑蔓性低木



白花

2016.5.5中津川



奇数羽状複葉

2014.5.5長野



モッコウバラ 萼片5個、内面に密毛【37】

2014.5.5長野

モッコウバラ 木香薔薇 〈バラ科バラ属〉

中国原産。江戸時代中期に渡来し、日当たりのよい地に植栽される。茎は長いものは8mに及ぶ。葉は互生、奇数羽状複葉、小葉1~2対、ふちに細かい鋸歯、裏面の主脈や葉軸は有毛。枝の先端に疎らに花をつけた散形花序をつけ、淡黄色または白色の八重咲きの花を開く、径1.5~2.5cm。実はできない。[4][18][37][58]

- 名は、木香の音読みに由来。【18】
- 白花には芳香があるが、黄花にはない。【4】
- このバラには刺がない。【58】

[illegible]

【花期 6～7月】 常緑高木



モッコク 枝は赤褐色【37】

2017.10.4長野



花

2020.7.9長野



裂けた果実と種子 2017.10.30長野

モッコク 木斛 〈ツバキ科モッコク科〉

海岸に近い山地に生える。幹は直立。高さ10～15mになる。樹皮は黒灰色、滑らか。葉は互生、長楕円状倒卵形、長さ3～7cm、全縁、厚い、光沢がある。花は葉腋につく、下向き、花弁5個、径1.5cm、白色、雄しべ多数、芳香がある。果実はさく果、ほぼ球形、熟すと厚い果皮が裂けて赤い種子を出す。【4】【18】【37】【58】

■名は、本種を木香と誤ったため。【18】 ■花が6～7月に咲くラン科の石斛（セッコク）の香りがするからという。【25】

■用途は庭木、鉢槐、器具材。【4】 ■琉球では首里城の建築に使った。【25】

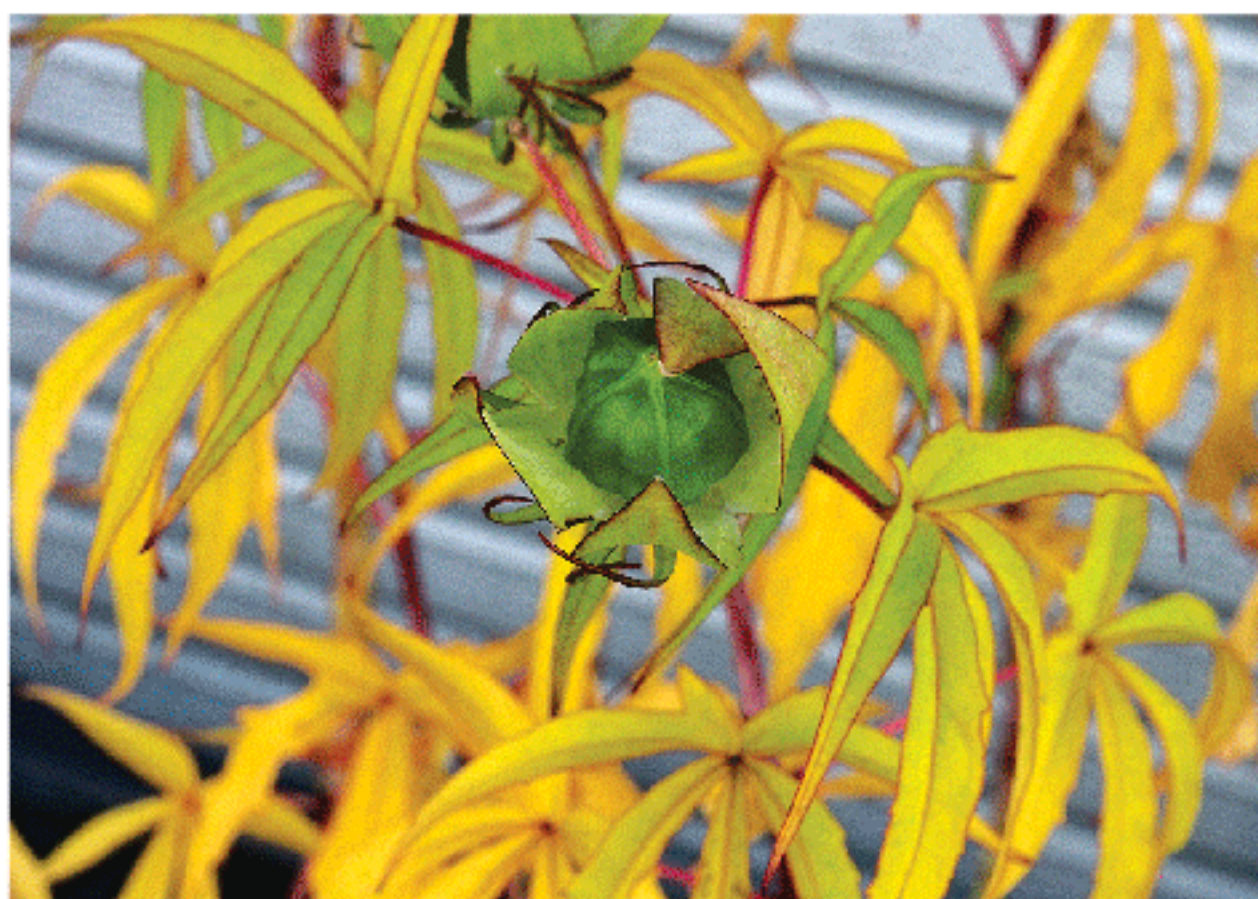
花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
モッコク					0							

【花期 6～9月】



モミジアオイ 太い根茎で冬を越す【58】

2015.9.15須坂



黄葉 実

2015.10.19須坂

モミジアオイ 紅葉葵 〈アオイ科フヨウ属〉

北アメリカ東部原産の多年草。明治初期に渡来。茎は数本かたまって直立。高さ1～3m。葉は互生、掌状3～5深裂、長い葉柄がある。花は上部葉腋に1個、径10～20cm、花弁5個、重ならない、雌しべと雄しべは途中まで合着、花色は紅色、園芸品種にピンク色、白色。一日花だが次々と咲き続ける。【18】【58】【78】【84】

- 名は、モミジのように深く3～5裂して、アオイの仲間ということから。【58】
- 草本性ハイビスカス。雌しべは長くのび、柱頭は先が丸く5裂。雄しべは雌しべを包み管状に合着し、ブラシのよう。【25】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
モミジアオイ							●					

【花期 4~5月】落葉低木



モミジイチゴ

2002.4.11長野



花

2002.4.11長野



莖

2001.5.1伊那



果实

2001.6.2長野

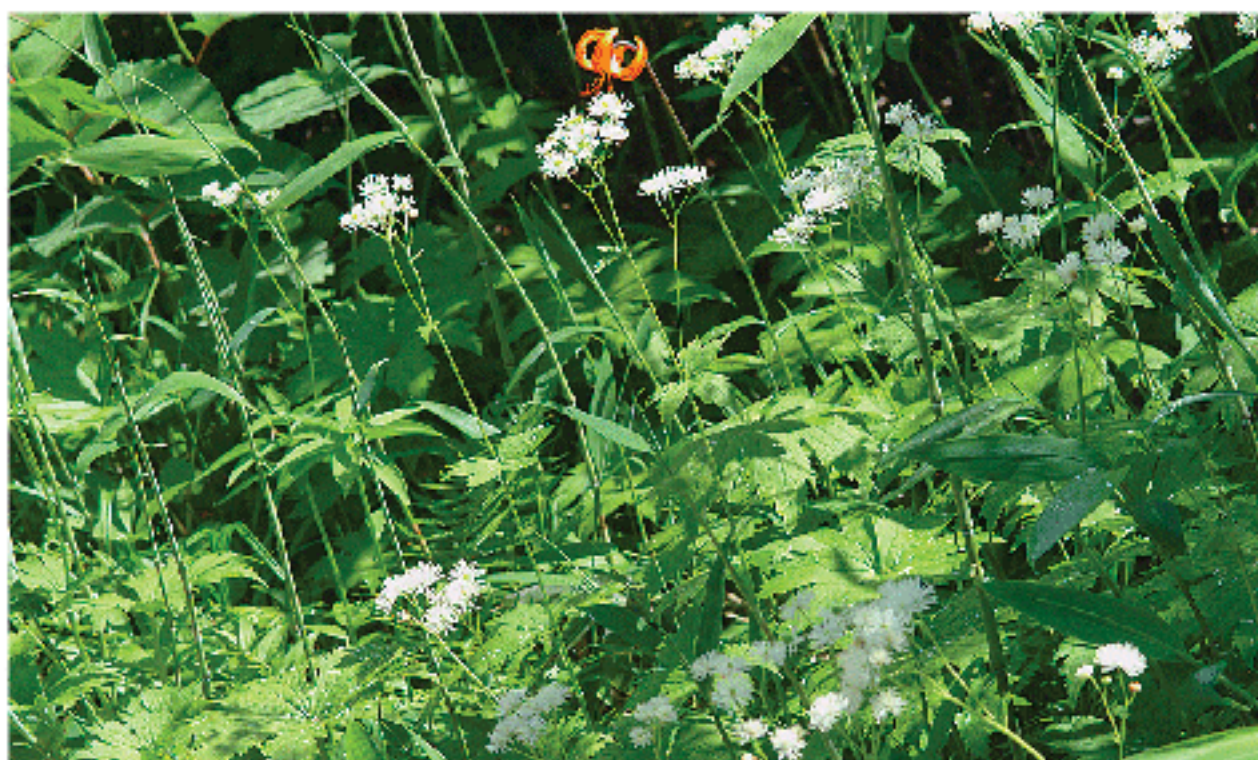
モミジイチゴ 紅葉莓 別名キイチゴ〈バラ科キイチゴ属〉

長野県の山野に普通に生え、高さ1~2m。茎は無毛、刺が多い。
葉は互生、やや掌状に3~5裂、ふちに切れ込み状の重鋸歯。花は
白色で下向き、径2~3cm、萼片5個、ふちに腺毛、花弁5個、広
楕円形、雄しべ・雌しべ多数。果実は小さな核果、球状に集合し
て下垂、橙黄色に熟して美味。[4][5][18][37][48][49]

- 名は、葉がカエデ(楓=モミジ)の葉に似るから。【18】
- キイチゴの仲間は非常に種類が多く、日本だけで50種はあるとか。【28】
- 母種で、葉の先が長いナガバモミジイチゴは西日本の山野に普通。【4】

[illegible]

【花期 7～8月】



モミジカラマツ 後方の紅色の花はクルマユリ

2006.8.11 栂池自然園



花 花弁がなく、多数の雄しべと雌しべが目立つ【15】

2003.7.12 志賀高原



根生葉

2004.7.7 白馬五竜



実 そう果【42】

2002.6.29 志賀高原

モミジカラマツ 紅葉唐松 (キンボウゲ科モミジカラマツ属)

亜高山帯から高山帯の湿った草地に生える多年草。茎は直立、上部は密に短毛。高さ30～80cm。根生葉は1～4個、長柄、葉身は円形か半円形、長さ5～30cm、掌状に7～9中裂～深裂、裂片はさらに深く欠刻し、ふちに鋸歯、茎葉は2～3個。茎先に散房花序を出し、白い花をつける、径1～1.3cm、萼片3～5個、開花するとすぐ落ちる、花弁はない、雄しべ多数、雌しべ多数。【3】【15】【42】【58】

■名は、葉をモミジ、花をカラマツに例えた。【18】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
モミジカラマツ						〇〇〇〇						

A close-up photograph of a flowering plant, likely a morning glory, featuring several large, light purple flowers with dark purple centers. The flowers are surrounded by a dense growth of bright green, five-lobed leaves. The background is filled with more foliage, creating a lush, natural setting.

2021.10.13長野

■暖地では通念開花する。【142】

[illegible]

【花期 4～11月】



モミジバゼラニウム

2017.6.20長野

モミジバゼラニウム 紅葉ゼラニウム (フウロソウ科テンジクアオイ属)

1986年にカナダのイアン・ギラム氏によって作出されたゼラニウムの園芸品種。高さ30～45cm。葉はモミジのように切れ込む、暗赤色に黄緑色の覆輪がある。花はオレンジ色、花弁5個のうち2個が小さい。【58】【161】

■学名Pelargonium × hortorum (ペラルゴニウム × ホルトルム)。【161】

■学名に「×」が入っているときは、交配種を差す。【161】

■ペラルゴニウム属。【161】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
モミジバゼラニウム				●								

A close-up photograph of a plant with striking, multi-colored leaves. The leaves are primarily palmately 5-lobed, with colors ranging from deep red and magenta to bright orange and yellow, with some green still visible. The leaves have serrated margins and prominent venation. They are densely packed and layered, with some leaves in sharp focus and others blurred in the background. The lighting is bright, creating strong highlights and shadows that emphasize the texture and color of the foliage.

2017.5.22小諸

■フウよりも大柄。【58】

[illegible]

A close-up photograph of a flowering plant, likely a morning glory, featuring several large, trumpet-shaped purple flowers with dark, almost black, centers. The flowers are interspersed among a thick growth of bright green, deeply lobed leaves. The background is a soft-focus green, suggesting a garden setting. The lighting is natural, highlighting the delicate texture of the petals and the vibrant color of the foliage.

2021.10.13長野

きた げんさん たねん そう にほん たいわん どうにゅう たいわん
北アフリカ原産の多年草。日本へは台湾から導入されたので台湾
あさがお べつ めい つる なが はか じゅうもく ぼうじょう ま
朝顔の別名がある。蔓は長さ3～5m、他の樹木や棒状のものに巻
きついてのびる。葉は掌状複葉、小葉5～7個。葉腋に花柄を出し
て漏斗状の花をつける、花は径7cmくらい、紅紫色、淡い青紫色、
はくしよく かじつ か
白色。果実はさく果。[58][142]

■暖地では通念開花する。【142】

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
モミジヒルガオ												



2009.9.16長野

ねったい げんさん いっしゅ ねん そう てんしょうねんかん とらい
熱帯アフリカ原産の**ソルガム**の一種。1年草。天正年間に渡来。
はたけ さいばい くき ちよくりつ えん ちゅうけい たんいつ たか ないがい ふし
畑に栽培される。茎は直立、円柱形、単一、高さ2m内外、節が
ある。葉は互生、長さ50～60cm、幅6cm位、下部は長い鞘。花は
けいちょう みっせい えん すいかじょ かじつ がつ がつ ころ せっ かつしよく じゅく ねば
茎頂に密集、円錐花序。果実は9月～10月頃赤褐色に熟す。粘り
け しゅ せいふん だんご もち りょう
気のあるもち種で、製粉して団子や餅などに利用される。[18][58]

[illegible]

【花期——月】



花

2016.9.14長野



実

2016.9.11中津川



モロッコインゲン 葉

2016.9.11中津川

モロッコインゲン モロッコ隠元 〈マメ科〉

実つきがよく次々に収穫できる。実は平莢、長さ14cm程度、幅1.8cm程度、肉厚。蔓ありと蔓なしの種類がある。[87]

花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
モロッコインゲン												

【花期——】



モロヘイヤ

2008.10.5長野



蕾 花

2004.8.13長野



花

2004.8.13長野



集

2004.8.13長野

モロヘイヤ モロヘイヤ molokheiya 〈シナノキ科ツナソ属〉

東地中海地方原産。アジア・アフリカの熱帯地方で野菜として栽培され、わが国へは1980年代に緑黄色野菜として導入された1年草。茎は直立、丸い、高さ2~3m。葉は長楕円形、ふちに細かい鋸歯。花は黄色、オクラに似る。[5][58]

■名は、エジプト語で王家の野菜という意味だそうです。【58】

■和名は**タイワンツナソ**(台湾綱麻)あるいは**シマツナソ**(縞綱麻)。【58】

■若葉を細かく刻んでぬめりを出し、スープなどにして食べる。【58】

	花撮影月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
モロヘイヤ													

モロヘイヤ